

「地域から改めて提案あれば協議する」と答弁

平良木議員の総括質疑で 公共施設の再配置について



9月議会初日の1日、市長の提案説明の後、党議員団を代表して平良木議員が総括質疑（議案に対して疑問や不明確な点を問う発言）を行いました。

灯油購入助成

Q 市民生活への支援として行った灯油購入費助成は、対象になった世帯に限られたが、市内全体にわたる困窮世帯や困窮施設への支援はどうだったのか。

A エネルギー価格高騰にに応じて、生活に一番困窮している非課税世帯に対して速やかに支給した。年度の前半は物価は逆に下がっていた状況なので、福祉事業所までの支援は考えていなかった。

住宅リフォーム助成

Q 住宅リフォーム促進事業は、昨年度一定の改善が図られたが、実際には抽選で漏れた市民が大量に発生した。この点について、どう認識し、どう対応したのか。

A 景気浮揚対策であること、年度の途中の制度変更は不公平になることなどから、抽選で漏れた多くの市民には理解を願った。

Q 制度変更ではなく、補正予算の計上などを含めて何らかの対応策があったのではないか。

A 応募者多数の場合は抽選になることを周知の上で実施したので、途中変更は不公平になると考えた。

事業者経営支援金

Q 事業者経営支援金は、当初必要な人が対象にならないなど制度の趣旨に反する事例があったが、その後の検証や改善はどうだったか。

A 一部事業者が制度の趣旨に反して対象外となる等の課題があったので、速やかに制度を改正し、課題を解消した。その後は、市内の経済状況を把握し、状況変化に対応した支援を行っている。

財政調整基金の残高

Q 財政調整基金は、2018年に定めた財政計画の目標値に対して約27億円余も多いが、市民生活への影響の視点でどう評価しているのか。これを活かして、もう少し市民への支援策が取れたのではないか。

A 新型コロナウイルスや大雪など想定外の事象に対応する一方、それらへの特定財源の確保や国の地方財政措置の拡充、堅調な市税収入などが重なって、計画値を上回る残高となった。必要な支援のために14回の補正予算を編成するなど、躊躇なく基金を取り崩して対応した。したがって、市民生活を支える基礎的な行政サービスの確保と充実、市民の命と暮らしを守る取り組みを最優先に市政を進めた結果としての基金の残高と評価している。決して残高を確保するために出し惜しみをしているというようなことはない。

公共下水道整備区域の見直し

Q 「公共下水道整備区域の見直しの検討」は、具体的にどう検討しているのか。また、該当地域へはどう対応し、どんな声が出されているのか。

A 少子高齢化や人口減少、施設の高齢化に伴う改築更新需要の増加などから、市財政に与える影響も大きく、下水道経営の健全化は喫緊の課題である。そこで、公共下水道整備区域から合併処理浄化槽区域への転換を進めることで、令和10年度までの汚水処理施設整備の完成を目指し、地域の皆様に理解いただけるよう丁寧な説明に努めていく。

Q 「下水道事業」と「汚水処理事業」の内容の違いは大きい。十分に理解をえられているのが問題だ。

市民からすると、合併浄化槽の設置は個人の責任だが、公共下水道は、少なくとも本管は公共のものであって大きな違いがある。市民の理解をどう得ていくかが重要ではないか。

A 指摘の通り、大きな差異が生じる。そこでなるべく負担を同等程度にできる制度設計をし、内容を地域に説明した上で整備区域の見直しを行っていく。なお、汚水処理施設整備のアクションプランを平成27年度に策定し、順次見直しを行っているが、周知不足もあるので、情報発信と周知に努める。

公共施設の適正配置計画

Q 公共施設の適正配置計画では、「一部の施設において廃止等の取組の遅れが生じている」など「廃止ありき」ともいえる評価をしているのではないか。

A この計画は、各施設の利用実態等を踏まえた施設の取組方向等を示し、地域協議会や関係者の一定の理解を得た上で策定した。例えば、市民いこいの家で、地域協議会からの説明不足などのご意見があったことなど、計画に対して遅れが生じていることを評価した。引き続き、理解と納得を得るために、丁寧な説明を行う。

Q 理解と納得を得るために、丁寧な説明をするというのは、相手が根負けするまで同じことを繰り返すし、諦めるまで頑張るという意味になりかねない。話し合いを重ね、譲るところは譲り、互いの一致を前向きな方向で見出すという姿勢が必要ではないか。

A 地域から改めての提案等があれば、行政としても納得できるものなのかを考えた上で協議を重ねる。そういったものも全部踏まえた上で、最終的な判断にしていく。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.761 2022年9月11日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))